

一般質問通告書一覧表

平成29年第2回定例会

質問 順位	質問者	質問事項	質問 要 旨	答弁者
1	松戸千秋 議員	1. 「新生児聴覚検査」事業について	生まれて間もない赤ちゃんの耳の聞こえ具合を調べる「新生児聴覚検査」の受診状況及び今後の受診率向上に向けた取り組みについてお伺い致します。	担当部長
		2. 稲敷版「ヘルプカード・ヘルプマーク」作成について	障がいのある方が携帯し、災害時等に緊急連絡先や必要な支援内容を周囲に伝えることができる、稲敷版「ヘルプカード・ヘルプマーク」を作成する考えはあるのかお伺い致します。	担当部長
2	黒田茂勝 議員	今後の農業政策について	①本市の基幹産業である農業の今後の振興策についてお伺いします。 ②本市の農産物に対する域内消費策についての市長の考えをお伺いします。	市長 副市長 担当部長
3	篠田純一 議員	1. 稲敷市の花火大会における不正疑惑について	稲敷市の花火大会において、約12,000発の花火を、7,000発に工作してその差額を着服している輩がいるなどと、多くの市民の皆様が不安を抱いている中、実際にそのようなことがあったのか、お答えください。	市長 副市長 担当部長
		2. 都内魚市場から本市への汚染土の搬入について	裏仕事専門の土建業者と結託して建設残土の捨て場を斡旋し利益を得ている輩が、今話題の市場からの汚染土を、この稲敷市内に引き受けたなどと、多くの市民の皆様が不安を抱いている中、そのような事実を確認しているのかお答えください。	市長 副市長 担当部長
		3. 県道維持管理事業に準じる、市道維持管理事業について	新設よりも維持管理に重点を置かざるを得ない市道事業の現実。 職員ら総出で草刈や維持補修を行う現状を早期に改善する為にも、以前から提案している地区別又は路線別での、草刈、補修、災害対応、塩カル散布まで含めた市道維持管理事業の実現化に向けて進めてみてはいかがでしょうか。	市長 副市長 担当部長

質問 順位	質問者	質問事項	質問 要 旨	答弁者
4	若松宏幸 議員	1. 農泊の推進による地域活性化について	農村地域に宿泊し、農産物の収穫作業や現地での暮らしなどを体験する「農泊」が、日本人だけでなく訪日外国人観光客からも好評を博している。当市における農業民泊や農業体験などを官民連携で進める取り組みについて、お伺いいたします。	市長 担当部長
		2. 就学援助における学用品費の就学前支給について	「新入学児童生徒学用品費等」の支給時期について、現行制度では、国庫補助対象者は「学齢児童又は学齢生徒」とされているため、小学校入学前(就学前)の子どもは補助を受けられない。そこで、ランドセルなど入学に必要なものを購入する入学前の時期に必要な支援ができるような対策について、お伺いいたします。	市長 担当部長
5	竹神裕輔 議員	生活困窮者自立支援事業について	①必須事業と任意事業の実績と今後の課題について ②未実施となっている任意事業の実施について	市長 担当部長
6	山口清吉 議員	1. 国保税の引き下げについて	国民健康保険制度は社会保障の一環です。被保険者が滞納なしで保険税を払い、保険証1枚で必要な医療を受けられることが原則です。国保の都道府県化によって、「国保の抱える構造的課題」を克服し、被保険者の負担軽減ができるのか、お伺いします。	市長 担当部長
		2. 就学援助制度の拡充について	準要保護世帯の、 ①小中学校入学準備金を3月支給とすること。 ②支給額も実情に即して引き上げること。 以上2点ができるか、お伺いします。	教育長
		3. 平和行政について	平和首長会議で「ヒバクシャ国際署名」への賛同・協力及び「核兵器禁止条約の交渉開始を求める市民署名」の推進について取り組むことが確認されました。すでに田口市長は署名に協力しています。稲敷市として、 ①「ヒバクシャ国際署名」の案内を市のホームページに掲載し、署名用紙をダウンロードできるようにすること。 ②庁舎内に署名コーナーを設けること。 ③被団協製作の「原爆と人間」パネルを購入し原爆展を開催すること。 以上3点ができるか、お伺いします。	市長 担当部長

質問 順位	質問者	質問事項	質問 要 旨	答弁者
6	山口清吉 議員	4. 高齢運転による交通事故を減少させるための運転免許証自主返納に対する支援について	①運転経歴証明書交付手数料 1,000 円を補助すること。 ②運転免許証自主返納奨励金として、20,000 円を支給すること。 ③コミュニティーバス料金の半額を補助すること。 以上3点ができるか、お伺いします。	担当部長
7	根本浩 議員	稲敷市の魅力を発信できる拠点づくりについて	農政新時代にふさわしい、高付加価値や6次産業化に展開できるコンセプトとして地方創生関係交付金を利用した戦略的、尚且つ、圏央道稲敷東インターチェンジ周辺での大規模な道の駅構想を稲敷市は必要だと考えるが、稲敷市はどう考えているのか伺う。	市長 担当部長
8	浅野信行 議員	1. 人口減少対策について	・UJI ターン促進の取り組みについて 宇都宮市では市出身を含む首都圏の若者を対象に、同市内への就職を促す「UJI ターン就職ガイド」を作成し、県内13大学のほか、首都圏4都県の92大学などで無料配布している。 稲敷市でも UJI ターン促進のための取り組みを考えてはいかがでしょうか。 市長の御所見をお伺いします。	市長
		2. 地域共生社会について	・厚生労働省の「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が「地域共生社会」の実現に向けて取りまとめを公表しました。 稲敷市としての取り組みをお伺いします。	市長